

対象年度	令和 3年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	地域未来塾運営事業						予算事業名	地域未来塾運営事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			10	05	03	2201	政策経費							
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ②地域教育体制の充実 その他						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	生涯学習課						
								生涯学習係						
事業期間	継続 (平成29年度～令和 3年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
基礎学力や学習習慣が十分に身につけていない中学生の学習意欲を高め、学力の向上を図るとともに、地域住民が学習支援を行うことにより、地域の教育力の向上と活性化を図る。						子供の貧困対策に関する大綱(平成26年8月29日閣議決定)に地域による学習支援が示された。小山市では「学びの教室」月2回土曜日の午後に公民館等3カ所で開催。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民(教員希望の大学生、元教員、青少年健全育成団体等)の協力を得て、学習が遅れがちな中学生対象とした学習支援を行う。</li> <li>・各中学校区ごとに1教室開設。1教室あたり、学習支援員1人、教育活動サポーター2人を配置する。各教室の連絡調整役として地域コーディネーター1人を配置する。</li> <li>・運営委員会の設置。委員12人。年3回開催。事業計画、安全管理、広報、ボランティア等人材確保、事業の検証・評価を行う。</li> </ul>						市内中学生 地域住民  <b>【事業をとりまく環境の変化】</b> 近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域未来塾の開催(月2回、土曜日の13時～17時)</li> <li>・運営委員会の開催</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域未来塾の開催(月2回、土曜日の13時～17時)</li> <li>・運営委員会の開催</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域未来塾の開催(月2回、土曜日の13時～17時)</li> <li>・運営委員会の開催</li> </ul>						

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	310	921			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	208	584			
歳入計(千円)		518	1,505			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	07 報償費	424	1,341			
	10 需用費	16	18			
	11 役務費	78	146			
歳出計(千円)(A)		518	1,505			
伸び率(%)			190.54			
備考	総合計画 ページ 予算書180ページ					

# 令和元年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	開催日数	日	目標	18.00	12.00	18.00
			実績	16.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加生徒数	人	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	66.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	生徒が定期的に未来塾に参加する事で、学習習慣の定着及び学力の向上に繋がる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	国・県の補助事業であり妥当である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	会場の検討及びサポーターの人材確保が課題となっている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	教育活動サポーターは、教員志望の学生であるため、生徒と関わることで相互に効果がある。また、ボランティアで活動している意識もあるため、現在のコストは妥当といえる。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	中学生全員が対象となっているが、部活動や会場が遠方にあるなどの理由で参加できない生徒もいる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	参加した生徒は、学習習慣が確立されるなどの成果が見られるが、運営委員会で反省点・改善点を検証し、さらなる成果向上を目指した活動を展開していく。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	学習支援員・教育活動サポーター・事務局が情報交換及び連携により計画的に進めているが、より多くの生徒が関心を持って参加できるよう、新たな企画を検討することも必要。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<p>参加した生徒は、熱心に学習に取り組んでおり、学習習慣の確立及び基礎学力の定着を図ることが出来た。</p> <p>開催場所については、現在、各中学校を会場としているが、会場となる教室の安全対策等、教員の負担が増加していることや、学習支援員・教育活動サポーターの人材確保が困難となっていることが課題である。</p>			
<p>対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか</p> <p>新型コロナウイルスの影響による学校行事の縮小や延期、長期休業期間の短縮、土曜日の授業等 学校の緊急的な対応に配慮した事業展開が必要である。また、サポーターとなる大学生の確保もますます厳しい状況にある。今後の社会情勢に合わせて、開催日時や運営体制等随時検証し、生徒が参加しやすい環境を構築していく。</p>			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>これまでは、自習形式で実施してきたが、学習塾との連携など、生徒がより参加意欲が湧いてくる方法を検討する必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>